

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社スチールハブ		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目14-1	
本票作成	部署名：施設管理チーム 設備保全班				
主たる業種	分類コード	24	業種名：金属製品製造業		
事業の概要	鋼材の受け入れから加工(表面処理、切断、曲げ、溶接)と海上輸送までのトータル一貫サービス				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		同上	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 8 年度)					
	5,222 t CO ₂			5,065 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	本社工場		5,222 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産加工量(百t) 設定理由：省エネ法と同様とした。		基準年度	目標年度
			0.929 t CO ₂ / (百t)	0.901 t CO ₂ / (百t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

従来通り、弊社の使用エネルギーは燃料と電力であるため、これらの削減による取組が中心となります。燃料と電力の熱量換算結果を元に比率を考えると燃料：電力＝1：9となり、排出量削減に効果的な対象は電力となります。又、燃料については生産の基幹設備であり、改善が困難であるため電力削減の取組を中心とし、中長期における削減目標を年平均約1%削減を目標と設定します。

【目標削減率達成のための推進体制】

会社役員をトップとしてエネルギー管理統括者、エネルギー企画推進者、エネルギー管理者で構成し、従業員全体で削減活動が出来る体制を整備し、維持運用を行います。本体制は省エネ法と同じくして、あくまで経営的視点を踏まえた上で可能な限り省エネルギー活動に取り組む事で、極めて関連性のある温室効果ガス排出量の削減にも対応出来るよう努めていくものとします。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
本社工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンプレッサー空転対策の為、自動発停機能追加(100kW×2台) ・ 663台の水銀灯照明をLED照明へ交換 ・ 天井クレーン付帯照明(105台)を水銀灯からLEDへ交換 ・ 摺動部の潤滑及び定期点検を行う事で、駆動の負荷や設備トラブルによるチョコ停の削減

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
本社工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショット地下ピット、塗装室内の水銀灯及び蛍光灯のLED化 <p>また、陳腐化した電動機/駆動装置をインバータ化することで電力利用の高効率化を図ります。 この他、今後発生する設備老朽化に伴う更新に積極的に参画し、省エネルギーの観点からの仕様提言を行い、設備省エネルギー化に努めます。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--